

学区防災訓練



【豊治学区】

■世帯数：3,833 世帯

■人 口：10,757 人

■面 積：3.042 k^m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 防災訓練を学区全体ではなく、8町内会を5ブロックに分割して毎年2月に実施する。
- ・ 毎年当番ブロックが実行委員会を立ち上げ、当番ブロックの自治会長を責任者とし自治会役員、各自治会組長が運営にあたる。
- ・ 開催会場に応じた活動訓練を行うが、炊き出し訓練と発電機およびチェーンソーは各自治会で持ち寄り、習熟訓練と試運転、整備を行う。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧

【アピールポイント】

5ブロックに分割して実施するため、より多くの人に参加できる。また、それぞれの避難場所で開催することにより避難所の実態が理解される。毎年10月に戸田学区と地域企業と中学校区の防災訓練を実施しており、平成24年は震災を想定した訓練を実施予定。

2 きっかけ、背景

10数年前から中川消防署の指導のもと毎年実施している。豊治学区は8自治会で構成されるが、学区が広いために、指定避難所をもとに5ブロックに編成し行っている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会、老人クラブ 計約 50 人

(2) 他団体との協力

豊治消防団

(3) 運営協力

各自治会長は任期 2～4 年で選挙で選任される。組長は毎年交代するため、特別の苦勞や工夫をすることはないが、結果的に体験者が増えて、実際に災害が発生した時には戦力になると考えている。

4 実施のスケジュール

H24 年
4 月 担当自治会（ブロック）の決定

12 月 担当自治会実行委員会の立ち上げ

H25 年
2 月 防災訓練の実施



5 成果と課題

(1) 成果・効果

毎年開催することにより地域住民と学区連絡協議会役員との交流が深まり、防災意識が高まった。

(2) 苦勞した点

学区内に 2 つの団地自治会があり、他地域の訓練開催への参加者が少ないのが懸念される。

(3) 今後の課題・展望

担い手の世代交代が課題。過去十数年開催しており、毎年の行事として認識されているため、活動の継続には問題ないと思うが、マンネリ化しないようにし、新しい課題を取り入れて行きたい。